

令和5年度  
第1回三木市環境審議会

議事録  
(公開用)

令和5年10月3日開催

1 名 称

三木市環境審議会

2 日時・場所

令和5年10月3日（火）14時～16時 三木市役所大会議室

3 出席者

〈委員17名〉 ※◎会長、○副会長

◎武田義明、○密祐浩、岡田紹宏、田中啓介、三村広昭、安井由次、鍋島健一、免田浩史、河原正則、児島義人、住友聰一、北村健、佐藤孝介、丸山純子、若田芳枝、堀渕洋子、板倉澄雄

〈事務局5名〉

三木市市民生活部 降松俊基部長

生活環境課 大塚芳徳課長、石川孔明係長、森亮人主事、久保裕紀主事

〈その他、市職員22名〉

企画政策課 堂元誠二課長、縁結び課 成瀬拓生課長、危機管理課 仲上幸宏係長、総務課 藤田尚子係長、財政課 中尾吉伸課長、環境課 小山智史課長、健康増進課 後藤洋子課長、観光振興課 小野梓係長、商工振興課 能出真一課長、農業振興課 村上健太郎係長、農地整備課 濱田裕也係長、農業委員会 岩崎英也局長、建築住宅課 武内一也課長、都市政策課 前田和久課長、交通政策課 寺戸佑輝係長、道路河川課 小紫一磨課長、下水道課 米村誠課長、学校教育課 山口正明主幹、教育施設課 荒田知宏課長、生涯学習課 河端康課長、文化・スポーツ課 金松誠係長、救急救助課 清水圭太郎副課長

4 議 題

(1) 協議事項

ア 審議会会長、副会長の選出について

(2) 報告事項

ア 三木市環境総合計画の進捗状況等について

イ 意見書の回答について

5  公開・非公開

6 傍聴人数 0人

7 発言の内容

## (1) 資料1の基本目標1 (P1~6) について説明

### (委員)

資料1「実施状況」P. 2「公共施設における再生可能エネルギーの利用」の財政課の「今後の課題・取組」の最後段にある「普通財産」の意味を教えてください。

### (事務局)

事前に同じ内容で資料3の3番の通りご質問をいただいております。そのご回答をご確認いただき、回答とさせていただきます。

### (委員)

本庁舎でのLED化は進んでいますが、公民館や清掃センターでは難しいのでしょうか。その進捗状況をお教えてください。

### (事務局)

資料3の1番と2番のご回答をご確認いただき、回答とさせていただきます。

### (委員)

資料4ページ「公共交通機関及び自転車の利用」のところで、パークアンドライド駐車場の適正管理とありますが、具体的に適正管理とはどのように行っていますか。

### (市職員)

駐車場の管理は、神戸電鉄で行われています。より多くの方にご利用いただくために、神戸電鉄の利用者であれば、駐車料金の値引きを行ったり、また交通政策課で配布している広域の総合時刻表というバスも鉄道も一体になった時刻表の中にパークアンドライド駐車場の位置図を記載したりと周知やPRをさせていただいております。

### (委員)

パークアンドライド駐車場の件ですけれども、一日停めたらだいたいどれくらいの料金がかかりますか。

### (市職員)

駐車場によって異なりますが、おおむね1日最大500円です。これは神戸都心部と比べればかなり安く、そこに加えて100円引きという割引もありますので、ぜひご活用いただきたいと思っております。

## (2) 資料1の基本目標2 (P7~9) について説明

### (委員)

7ページの有害鳥獣対策の実施について、狩猟者の高齢化による次代の有害鳥獣隊員の育成が今後の課題とありますが、来年の6月ごろに吉川に県立の総合射撃センターができ、狩猟者育成

の施設でもあると聞いています。そういったところとの連携はどう考えですか。

(市職員)

現時点では、考えておりません。

(委員)

他にご質問等はありませんか。

(委員)

資料7ページの特定外来生物対策の実施というところで、ホームページで情報提供を行ったとありますが、ホームページを見ないとそれが特定外来生物かどうか分からない状況になっています。ホームページ以外でも、広報周知をお願いします。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。今後どのように住民の方に周知していくのか、チラシを配る等、良い方法を検討しながら進めて参りたいと思います。

(委員)

同じく特定外来生物対策の実施についてですが、神戸市では、ミシシippアカミミガメの駆除への補助金制度があります。効果絶大であったと聞いています。予算の問題もあるとは、思いますが何かしらの対策は必要ではないでしょうか。

また、私は現在、特定外来生物の駆除等をしていますが、個人では、限界があると感じています。そこで、学校に働きかけて、子どもの目やたくさん目の目で判断し、市が情報をもらえれば、効果的に施策が打てるかなと思います。ぜひ検討いただけたらと思います。

(事務局)

アカミミガメについては、神戸市の現状と取り組み状況を把握しております。

三木市にどの程度の個体数があるのか等、実態が把握できておりませんので、今後実態把握と、近隣市町の取り組み状況等を参考にして検討していきたいと考えております。

また、学校の協力を得てという意見がございましたが、教育委員会など多岐にわたり調整が必要ですので、貴重なご意見として情報共有させていただきたいと思います。

### (3) 資料1の基本目標3、4、5 (P10~18) について説明

(委員)

事前に意見を出してはいたけれども、やはり一人当たりのごみの排出量や処理費用といった具体的な数値を示すことで、市民のごみ問題に対する理解が深まるのではないかと考えています。神戸市では、毎年、ホームページ上でそれらの情報を公表していますが、三木市ではどのようにお考えでしょうか。

#### (市職員)

ごみに関しては、1人当たり排出量や処理費用が非常にわかりやすいものだと思いますので、広報誌等の媒体を使い、周知に努めていきたいと考えています。

ただし、毎月掲載するのは、難しいと思われるので、ごみ関連の特集記事等を組む際に、掲載することを検討していきたいと思っています。

#### (委員)

計画作成時の市民アンケートで最も重要と考えている環境問題は「ごみのポイ捨て」となっています。ポイ捨て防止については、スローガンを掲げPRをし、小中校生が清掃活動したりなど、インパクトのある取組が必要ではないかと考えています。インパクトのあるものとすることで、マスコミにも取り上げられ三木市をPRできる良い機会になると思います。

#### (委員)

ごみの関係になりますが、私が住んでいる地域は、高い木がある戸建て住宅が多く、それに伴い木の枝や葉などが大量にごみステーションに出されています。ホームページ等を確認しても、1回でステーションに出せるゴミは、3袋までとされているため、それらは直接清掃センターに持ち込むべきだと思いますが、やはりステーションに出せるのは、3袋までなのでしょうか。

#### (市職員)

三木市では、1度にごみステーションに出せるごみの量は、3袋までというルールになっています。市民の皆様にご協力いただけるように、ごみカレンダーやホームページ等様々な媒体を通して、周知を徹底していきます。

#### (委員)

刈った枝や草についてごみとして燃やすのではなく、有機肥料として堆肥化し、再利用するのが望ましいと考えます。

#### (委員)

刈った草や木などは、清掃センターでは堆肥化されていないのですか。

#### (市職員)

清掃センターには、堆肥化する施設等はありません。

#### (委員)

今後は、化学肥料も価格が高騰するため、地元で生えた草は地元で再利用し、循環させるという考えをもっていただき、知恵を絞っていただければと思います。

#### (委員)

ごみのポイ捨ての啓発については、三木北高校の生徒が学校周辺のごみの回収や街路樹の落ち葉の掃除を定期的に行っています。その他ボランティアグループも、主要道路や公園の清掃などをしており、それらを対外的に知っていただく事は大切だと思います。

また、小学生や中学生に対して、教育的側面からごみ問題にアプローチすることは、検討の余地があると思いました。

**(委員)**

堆肥化のお話が出ましたが、口吉川では堆肥化施設からの悪臭について大きな問題を抱えております。そこでは、生ゴミを引取り、堆肥化して出荷するという非常にSDGsにかなった事業をしています。しかし、住民説明会では、最先端のバイオテクノロジーでにおいはほとんど出ないという説明でしたが、実際は、大きな悪臭問題となっています。一度こういう施設ができるとなかなか無くなりません。堆肥にするために発酵しなければなりませんので、発酵臭は必ず出ます。ごみを燃やすことはいけない事ですが、堆肥化をするのであれば、悪臭への対策は必要です。

こういった問題を抱えておりますことを周知いただけたらと思い申し上げました。

**(4) 資料2の指標 (KPI集) について説明**

**(委員)**

資料2の1ページの一番下の災害時の非常用電源の確保数については、既に目標達成をしていますが、次の中間見直しの際には、数値の見直し等を行うのでしょうか。

**(事務局)**

2024年、令和6年度が中間目標年度ということになっておりますので、再度見直しを行い、数値等も含めまして、改めて審議いただきたいと考えております。

**(委員)**

同じく2ページの一番下の「ふれあい収集」と「粗大ごみかけつけ隊」、それから3ページの施設見学者数ですが、これらは市民の行動による定性的なものとなりますので、コロナ禍のように出かけるのを控えようかなれば、数が増減しますので、ここは何か違う指標に変更した方が良いかもしれないです。これらを含め、全体見直しをしたら良いのではないかと感じました。

**(事務局)**

ご指摘ありがとうございます。

委員からご指摘いただきましたように、定量的に示せる部分と、定性的な部分をもう一度精査いたしまして、担当課と協議しながら、中間見直しに向けて取り組みたいと思っております。

**(委員)**

温室効果ガスの2019年度の実績を基準値に設定しています。そこから削減していく目標設定をしていると思いますが、この間、少子高齢化による自然減など様々な要因があると思いますので、目標に向けて長期的に取り組む際は、各項目に適宜見直しが必要だと思えます。

また、CO2排出量を、これだけ減らすことによってどういう効果が現実的に見られたかとい

う事について、具体的な、例えばお金に換算するとこれくらいとか。難しいかもしれませんが。

電気代が高騰しており、そういう側面で検証してみて、短期の目標値を実現可能な数字として設定していった方が取り組みやすいかなと思います。無理をしない程度に目標設定は改めていって、経済的効果という面で1度検証してみた方が良いと思います。

#### (事務局)

温室効果ガスの排出量につきましては、各市町村が地球温暖化対策実行計画で定めており、三木市の方も、現在は公共施設が排出する温室効果ガスを集計したものを公表しています。

また、今後地域全体を対象にした計画の策定を予定しておりますので、改めて、そちらの方をご参考いただきたいと思います。今回この審議会の場では、細かい説明は割愛させていただきたいと思います。

#### (委員)

後ほど、ご説明はあるかとは思いますが、次期ごみ処理施設の関係で、今月の広報誌で「一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査の結果の縦覧と意見募集」の記事を見ました。私の勉強不足かもしれませんが、唐突に生活環境影響調査の結果を縦覧しますと言われても、これが何の事が分かりませんでした。事前に市民に対して、次期ごみ処理施設をこう進めていくなどの丁寧な説明があっても良かったのかなと思いました。

#### (事務局)

次期ごみ処理施設の件について、令和3年3月に基本構想を作成しました。令和4年の3月に処理方法や焼却炉等の施設についての基本計画を策定しました。今後、必要に応じて、パブリックコメントの実施など手順を追いながら進めていきます。

広報誌やホームページで広報はしていますが、全市民に行き渡っていないところもあるかと思っています。ホームページに経緯等を掲載していますので、御確認いただければと思います。

また、概要版を用いて住民説明会を開いていますが、夜に開催するなどの関係もあり、参加人数が限られております。今後は、市としても進捗状況などをお知らせしていきたいと思っています。

## 6 その他

#### (事務局)

次期ごみ処理施設整備基本設計について説明

#### (委員)

次期ごみ処理施設の建設するにあたって費用はどれくらいになりますか。

#### (事務局)

次期ごみ処理施設の建設費について、概算ですけども、令和4年の3月に作りました基本計画では約164億円かかると算出されました。

ただ今年の3月に策定した基本設計では、もう少し詳細なものをメーカーからアンケートを取りましたら、やはり今、光熱費、人件費、資材費用などが高騰しているということで、基本設計で出た金額は約255億円です。1年間でもかなりの金額が上昇しているという結果になりますので市としましては、コストを縮減することによって、市民への負担を軽減できるように、今検討しているところでございます。

**(委員)**

来年度にも本日のような中間報告はされますか。

**(事務局)**

委員からご指摘あったように、この環境総合計画におきましても、1年ごとに三木市の取り組みの状況について、審議会で報告させていただくということになっておりますので、引き続きしていきます。

来年度は計画の中間年度であり、翌2025年度に評価ということになりますので、引き続き委員様のご意見等を頂戴しながら計画を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。